

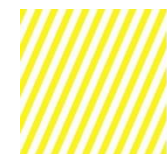
平成30年（2018年）3月14日現在

茨木市女性防災リーダー育成の取り組み

～女性防災リーダー研修 & いばらき女子防災部～



茨木市 総務部 危機管理課



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

災害と女性の視点について ～国の動き～

○1995年 阪神・淡路大震災(女性の問題が表面化)

◆1999年 男女共同参画基本法 成立

○2004年 新潟県・中越大震災

* 初めて「女性の視点」ということで、国の担当職員が現地に派遣され、女性に配慮した避難所運営などを提言

○2011年 東日本大震災

甚大な被害と長引く避難所生活から、さまざまな問題が発生

◆2012年 災害対策基本法の改正

「多様な主体の参画による地域防災力の向上」

以降、女性防災リーダーの育成の必要性が言われている。

○2016年 熊本地震 発生



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

「女性防災リーダー育成」をはじめた理由

- ◆過去の災害から、避難所の運営は男性中心だったので、女性の視点から避難所運営を考える必要がある。
(避難所では、トイレや着替え、生理や授乳など女性にしかわからない悩みがある。また、混乱した避難所では、実際性的被害が起っている。)
- ◆国が、女性を防災と復興の担い手と位置づけ、「地域の防災を担う女性リーダーの養成」を計画に示した。
- ◆本市の地域防災活動を見ると、活動している女性の数に対して、防災リーダーとして市の会議等へ参画する女性が少なかった。
- ◆本市は、日中市外で働いている男性が多いので、平日日中に災害が起こると「災害弱者」と呼ばれる高齢者や乳幼児を抱えた保護者が残る。女性防災リーダーの存在が必要。

次なる
茨木へ。
3
茨木には、次がある。

いばらき女子防災部発足までの 本市取組

●事業の目的

- 1 防災活動における男女共同参画の視点に配慮した取り組みを行うため、自主防災組織の運営を担い、方針決定過程へ参画できる女性リーダー育成
- 2 地域の自主防災組織で活動する女性たちの交流促進

★本取り組みは、危機管理課と人権・男女共生課
(男女共生センターローズワム) が連携して実施している。

●事業内容

- 0 女性の視点に配慮した防災講座の実施（H25年度）
- 1 女性防災リーダー育成事業の実施（H25～現在進行形）
- 2 いばらき女子防災部の設置（H28～）

0 市民対象の女性の視点に配慮した防災講座の実施

(1) 平成25年度

「地域防災リーダー研修会～誰もが安心して暮らせる防災～」

- ・対象者 市民（男女どなたでも）
- ・参加者数 252人

	参加人数	内 容	講 師
第1回 7/5 (水)	58人	女性たちの防災 ～女性と子どもにやさしい対応	人と防災未来センター 斉藤容子さん
第2回 8/30 (金)	64人	わがまち茨木の防災 ～これで安心して暮らせる	本市危機管理課
第3回 10/26 (土)	36人	こんな支援が欲しかった ～女性・男性の視点に立った防災	東日本大震災女性支援 ネットワーク 浅野幸子さん
第4回 11/24 (日) (地域防災リーダー 研修会)	94人	自分でできることを見つける ～東日本大震災に学ぶ	(公財)せんだい男女 共同参画財団 荒井康子さん

1 女性防災リーダー育成研修会の実施(自主防災会対象)

(2) 平成26年度

- ・対象者 地域自主防災会の女性会員
- ・参加者 延べ146人

	参加人数	内 容	講 師
第1回 7/23 (水)	41人	災害と女性 ～東日本大震災から学ぶ～	減災と男女共同参画 研修推進センター 浅野幸子さん
第2回 7/24 (木)	37人	避難所運営についてのワークショップ	
第3回 9/29 (月)	38人	事例に学ぶ、一歩先行く地域防災 ～女性目線で少子高齢化に負けない 活動を	
第4回 11/27(日)	30人	災害発生時の食について 意見交換とまとめ	本市保健医療課

第1回 災害と女性 ～東日本大震災から学ぶ～ (浅野講師)



第2回 避難所運営についてのワークショップ (浅野講師)



第3回 事例に学ぶ、一步先行く地域防災 ～女性目線で少子高齢化に負けない活動を (浅野講師)



第4回 災害時の食について（市保健医療課）



わが家の台所から防災を始めようということで、食べることから災害対策を考えました。

1 女性防災リーダー育成研修会の実施(自主防災会対象)

(3) 平成27年度

- ・対象者 地域自主防災会の女性会員
- ・参加者 延べ196人

	人数	内 容	講 師
第1回 7/22 (水)	39人	災害と女性 ～災害の経験から学ぶ～	NPO政策研究所 相川 康子さん
第2回 8/27 (木)	39人	災害時の要配慮者への対応について ※地域防災リーダー研修も兼ねる	減災と男女共同参画 研修推進センター 浅野幸子さん
第3回 8/28 (金)	30人	避難所運営についてのワークショップ	
第4回 10/1(金)	38人	災害発生時の食について	本市保健医療課職員
第5回 10/23(金)	35人	子育て世代と防災について	Stand for mothers ママプロジェクト
番外編 1/28(木)	15人	ぼうさいカフェ in いばらき	茨木高校 家庭科教諭 入交享子さん

第1回 災害と女性 ～災害の経験から学ぶ～ (相川講師)



第3回 避難所運営についてのワークショップ (浅野講師)



第4回 災害時の食について（市保健医療課）



本日のメニュー

- ・フライパンスパゲッティ
- ・切干大根とわかめの甘酢
- ・さばカレー

※折り紙食器を作成

第4回 災害時の食について（市保健医療課）



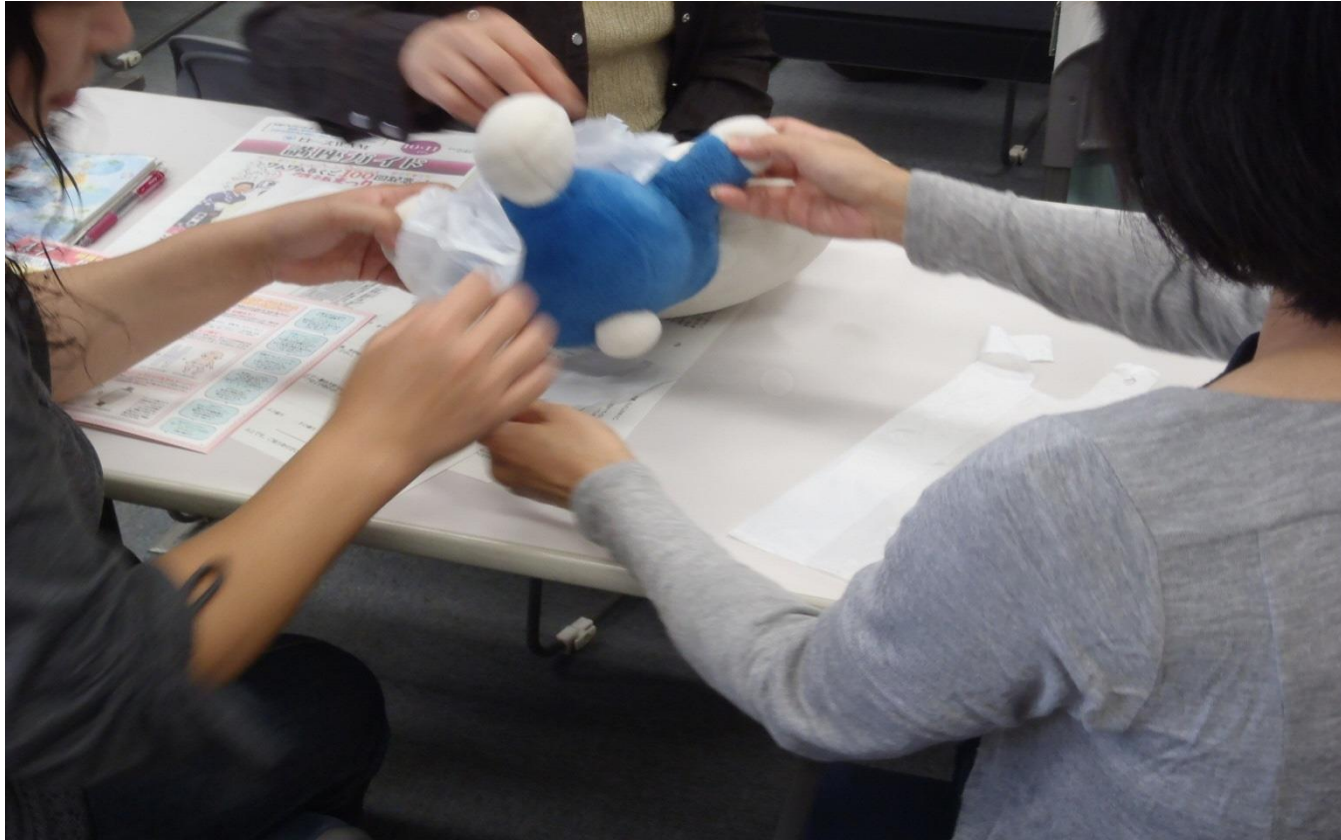
試食をしながら、自宅に今あるものを使って3日分の献立を考えてます♪

第5回 子育て世代と防災について (Stand for mothers)



人形を使って、手作りおむつを作成中
(タオルとスーパー袋を使います)

第5回 子育て世代と防災について (Stand for mothers)



0 市民対象の女性の視点に配慮した防災講座の実施

(4) 平成28年度

- ・ 危機管理課主催（人権・男女共生課共催）

「女性のための防災講座」の実施

- ・ 対象者 地域自主防災会の女性会員、女性・子育て団体など
- ・ 参加者 延べ196人

※第1回・第2回は気象警報発表中のため中止

	参加人数	内 容	講 師
第1回 9/29 (木)中止	-	災害と女性 ～災害の経験から学ぶ～	減災と男女共同参画 研修推進センター 浅野幸子さん
第2回 9/29 (木)中止	-	避難所運営についてのワークショップ	
第3回 10/13(木)	35人	災害発生時の食について	本市保健医療課職員
第4回 10/13(木)	30人	子どもの命を守るための備えについて	Stand for mothers ママプロジェクト

第3回 災害時の食について（市保健医療課）



本日のメニュー

- ・ポリ袋でごはん
- ・鮭缶とキャベツとコーンの重ね蒸し
- ・はりはり漬け

※折り紙食器を作成

第4回 子育て世代と防災について

(Stand for mothers)



実際の防災リュックを参加者に背負ってもらい、体験してもらっています。

1 女性防災リーダー育成事業 3年間の成果

1. 3年間で29団体中22団体(75%)より延407人が受講
2. 平成28年度は子育て支援団体や女性団体等が10団体参加
(子育て支援6団体、女性団体3団体、単位自治会1団体)
3. アンケート結果から参加者の約75%が大変よかったと回答
4. 各自主防災会の役員会等へ参加する女性が増加
5. 本研修で受講した内容を各自主防災会で報告し、役員等への情報共有が図られた。
6. 本研修で受講した内容を参考に、受講者が地域で研修会を企画し、実施
7. 受講生を中心に、学校PTAや地区福祉委員会と連携して地域で新たな防災の取り組みを実施。

1 女性防災リーダー育成事業 3年間活動から見えてきた課題と対策

○課題と今後の取り組みについて

1. **女性の受講生を出せない自主防災組織が25%**あった。
全ての自主防災組織から、女性が参加できるように働きかけが必要
2. **若年層や子育て世代の参加者が少なく**、自主防災組織活動に多世代が参加できるような工夫が必要

○課題への対策

1. 女性や若年層、子育て世代など**多世代が参加しやすい具体的な取り組みの実施**
2. 継続的な事業実施と自主防災組織への働きかけ

0 市民対象の女性の視点に配慮した防災講座の実施

多世代が参加できる防災啓発講座等の実施

(4) 平成28年度

【子育て世代対象】防災啓発講座やイベントの実施

1. 子育てイベントでの防災啓発講座の実施（子育て支援課と連携）

テーマ：「子どもの命を守れるママとパパになる」（2回）

講 師

①NPO法人 stand for mothers 三谷えみさん、辻ゆきこさん

②かもんまゆさん(スマートサバイバープロジェクト特別講師)

実施日:①10月21日 子育てイベント「ココフェスティバル」

②1月17日 イザ！防災体験inイオンモール茨木

2. 防災キャンプ in 市立青少年野外活動センター（青少年課と連携）

テーマ：「キャンプで学ぶ防災力」

講 師：認定NPO法人 日本レスキュー協会

実施日：10月8日～10日

平成28年度 秋のキャンプフェスティバル内で実施

1 子どもの命を守れるママとパパになる (市子育て支援課と連携)



講師も子育て真っ最中！
子育てママ目線の備えや災害時の行動についての話は、とてもわかりやすく、皆さん真剣に聞いてました。

講座終了後も、講師に質問するママや、100均でそろえる防災グッズを手にとっ
て見るママなど皆さん熱心に参加してくださいました。



2 キャンプで学ぶ防災力 in 市立青少年野外活動センター (市青少年課と連携)



災害救助犬との実演とふれあい



キャンプカウンセラーによる防災体験イベント



キッズレスキュー体験



救助工作車及び救助資機材の展示・実演

2 女性参画の体制を整備

茨木市自主防災組織連絡会に女性部会を設置

●事業の目的

自主防災組織の運営を担い、方針決定過程へ参画できる女性リーダーの育成を図るとともに、女性の視点を活かした避難所運営や防災対策を検討し、地域防災力の向上を図る。

●事業内容について

- ・平成26年度から実施してきた女性防災リーダー育成事業での研修を地域防災活動に活かすため、研修を継続実施。
- ・地域防災活動を行なう上での課題の共有や対策について検討していくことで地域防災力の向上を図る。
- ・女性防災リーダーのネットワークづくりを促進

●設置年月日 平成28年5月17日

●本会の愛称 いばらき女子防災部

●平成28年度 会員数 29人（13団体）
※各自主防災会から推薦された会員

茨木市自主防災組織連絡会について



自主防災組織
連絡会

防災士部会

H28年度～活動開始

女性部会

H28年度～活動開始

避難所運営
部会

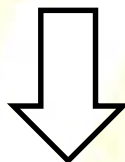
H29年度～活動開始

今年で2年目になります！

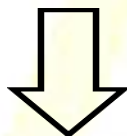
1年目

いばらき女子防災部のめざすところ

いばらき女子防災部での防災研修、実践（訓練）、女性同士の交流



- ①各地域での女性が中心となった防災活動の実践
- ②地域女性を巻き込んだ取り組みの実施
(〇〇地域女子防災部の発足など)



茨木市内全体の女性防災リーダーの育成

地域防災力の向上

平成28年度 活動スケジュール

	参加人数	内 容	講 師
第1回 10月17日(月)	19人	女性部会設立会	
第2回 11月25日(金)	22人	女性による防災訓練実施のための事前会議	
第3回 2月7日(火)	10人	女性による防災訓練実施のための直前打合せ	減災と男女共同参画 研修推進センター 浅野幸子さん
第4回 2月23日(木)	41人※	みんなにやさしい避難所づくり体験 ～いばらき女子防災部からの発信～	NPO法人 さくらネット 河田 のどかさん
第5回 3月16日(木)	15人	みんなにやさしい避難所づくり体験の意見交換会	
第6回 3月23日(木)	29人	報告会の実施 ※自主防災会長、役員、 市民対象	

※平成28年度女性のための防災講座受講者と市職員を含む人数です 30

平成28年度 女性部会の活動

第1回 キックオフ会議 平成28年10月17日



☆女性部会の活動は、本市ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

茨木市 女性の視点 防災

検索

平成28年度 女性部会の活動

第2回 女性による訓練事前会議 平成28年11月25日



第4回 みんなにやさしい避難所づくり体験～いばらき女子防災部からの発信～
平成29年2月23日

B 1 避難所づくり体験の様子



※訓練実施時の様子は、市HP内に動画を掲載しております。（youtubeサイトへ接続）
[検索方法]

①茨木市HPトップページ内 キーワードから探すというところに

いばらき女子防災部

検索

②youtubeで検索の場合

茨木市 みんなにやさしい避難所づくり体験³³

検索

第4回 みんなにやさしい避難所づくり体験～いばらき女子防災部からの発信～

B1 避難所づくり体験の様子



講師 NPO法人さくらネット 河田のどかさん

第4回みんなにやさしい避難所づくり体験～いばらき女子防災部からの発信～

5階 災害時のトイレ対策検討ワーク



第4回 みんなにやさしい避難所づくり体験～いばらき女子防災部からの発信～

5階 災害時のトイレ対策検討ワーク



講師 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野幸子さん

平成28年度 女性部会の活動

第6回 みんなでつくる防災ひと・まちづくり報告会 平成29年3月23日
(茨木市全域防災訓練等報告会)

☆本報告会で、いばらき女子防災部員が今年度の活動の報告をしました。

災害時のトイレ対策検討ワーク



避難所づくり体験の様子



☆本報告会の内容・資料は、本市ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

茨木市 みんなでつくる防災ひと・まちづくり報告会

37

検索

平成29年度 女性部会の活動

部員数:76人 (前年比約 2 倍) 団体数:21団体 (前年比 1.6倍)

[今年度テーマ]

避難所運営の重要課題である衛生対策（トイレ問題）について考え、実際の地域防災訓練で実践できる内容について検討する。

	参加人数	内 容	講 師
第1回 6/22 (水)	64人	はじまりの会 被災地の現状について 今年度の活動について	大阪府茨木保健所 保健師 市職員
第2回 7/10 (月)	45人	災害時のトイレ対策について考える (地域防災リーダー育成研修と共催)	NPO法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤さん
第3回 9/25 (月)	63人	トイレ対策訓練事前打合せ会	減災と男女共同参画 研修推進センター 浅野幸子さん
第4回 10/27(金)	52人	11月12日の実地研修に向けての 訓練事前練習会	市危機管理課職員
第5回 11/12(日)	66人	市主催避難所再現訓練での トイレ対策の実地研修	—

ここで実地研修しました！



第1回 6月22日（水）はじまり会

(1)いばらき女子防災部の活動について

(2)被災地の現状について

大阪府茨木保健所 保健師 徂徠 洋子さん

(3)今年度の取り組みについて

トイレ対策についてのグループでの意見交換

大阪府茨木保健所 徂徠さん講演



第1回 6月22日（水）はじまり会

トイレ対策についてのグループでの意見交換の様子



第2回 7月10日 災害時のトイレ対策について考える。

(地域防災リーダー育成研修会、職員防災研修と共催で実施)



NPO法人日本トイレ研究所
代表理事 加藤 篤さん



- ★当日参加者 152人
(男女比 女46%:男54%)
- いばらき女子防災部 45人
 - 自主防災会ほか 48人
 - 市職員 152人

第3回 9月25日（月）訓練事前打ち合わせ会

- (1)女性視点の防災の必要性
- (2)災害時のトイレ対策について（7月10日）の振り返り
- (3)今後のいばらき女子防災部の取り組み
～災害時のトイレ対策ワークショップについて～
- (4)トイレクイズ&ワークの実践について



第3回 9月25日（月）訓練事前打ち合わせ会



講師 減災と男女共同参画研修推進センター
共同代表 浅野幸子さん



第4回 10月27日（金）訓練事前練習会

午前の部（午前11時～正午）
午後の部（午後1時半～2時半）

11月12日（日）実施予定のトイレ対策ワークショップに向けて
の説明&練習会

○防災トイレクイズ担当
トイレに関するクイズについて、
女子部員に説明する市職員



お互いに説明員になり練習する
女子部員たち

講師 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野幸子さん

第4回 10月27日（金）訓練事前練習会

午前の部（午前11時～正午）
午後の部（午後1時半～2時半）

11月12日（日）実施予定のトイレ対策ワークショップに向けて
の説明&練習会

○防災トイレクイズ担当
トイレに関するクイズについて、
女子部員に説明する市職員



お互いに説明員になり練習する
女子部員たち

第4回 10月27日（金）訓練事前練習会

○みんなにやさしいトイレづくり体験担当
トイレの組み立てや誰もが使いやすいトイレになるようなワーク
の練習をする女子部員たち



災害時のトイレの様子や、事前に準備しておく重要性について説明する様子

第4回 10月27日（金）訓練事前練習会の様子



東日本大震災に学ぶ



11月12日(日)

9時30分から正午まで
場所：養精中学校

+ (プラス)
避難所再現訓練

【今年度の特徴1】

避難所再現訓練のほかに自由に体験できる防災体験ブースを設けます

各班に分かれて避難所再現訓練を実施

受付

炊き出し

物資

設営

衛生

警備

総務

掲示物

実施者

- ・ 自主防災会
- ・ 茨木市防災士
- ・ 養精中青健協
- ・ 中学生

女子防災部、大学生などが防災体験プログラムを実施

トイレ対応ワークショップ

非常用持ち出し袋プログラム

防災グッズ作成

実施者

- ・ いばらき女子防災部
- ・ 養精中青健協
- ・ 大学生 など

避難所再現訓練の講師

YY防災ネット 代表 吉田 亮一さん

(東日本大震災時に開設された避難所でリーダーを担当)

本訓練では災害時に地域住民による、避難所の運営を目指し、東日本大震災当時の避難所の運営を参加者で再現します。

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

防災体験プログラムのイメージ



体験しよう!

トイレ対応ワークショップ



みんなにやさしいトイレづくり体験やトイレクイズなど実施します。

非常用持ち出し袋プログラム



自分だけの非常用持ち出し袋をつくることができます。

無地のナップサックに自分で絵を描いたり、スタンプを押して作成します。



防災グッズ作成コーナー

イザ!という時に役立つ防災グッズの作り方を学びます。

ペットボトルで照明をつくらう



単3電池を単1電池としてつかおう



ゴミ袋でポンチョをつくらう



こなる
こ木へ。
次水には、次がある。

第5回 11月12日（日）避難所再現訓練+(プラス) いばらき女子防災部によるトイレ対策ワークショップ



○防災トイレクイズ担当
トイレに関するクイズを参加者に実施する女子部員たち

第5回 11月12日(日)避難所再現訓練+(プラス)

いばらき女子防災部によるトイレ対策ワークショップ

○みんなにやさしいトイレづくり体験担当

誰もが使いやすいトイレとなるように、参加者にアドバイスや意見交換しながら簡易トイレの組み立てを行う女子部員と参加者



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

平成29年度 茨木市全域防災訓練で実践！



平成30年1月21日に茨木市内全域で防災訓練を実施しました。

本市29団体の自主防災組織のほとんどが同日に地域で防災訓練を実施します。

地域の訓練で、いばらき女子防災部が取り組んでいる「ICO（イコ）いこトイレ運動」を8団体が実践してくれました。

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

地域でのいばらき女子防災部の活動 その1(玉櫛防災会)

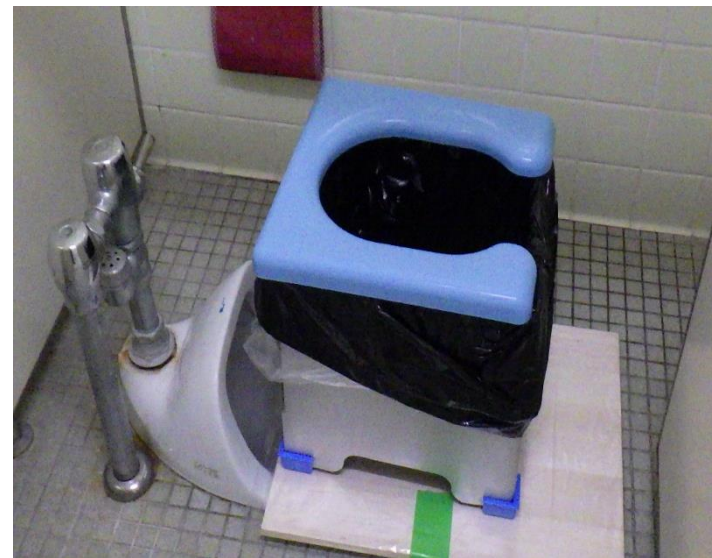


女子部員からの災害時のトイレや
衛生対策の話



地域でのいばらき女子防災部の活動(玉櫛防災会2)

実際に使用するトイレで説明する
自主防災会の担当者



各地域でのいばらき女子防災部の活動 その2 (水尾校区自主防災会)



災害時のトイレづくり体験の
説明する女子防災部員

平成30年度全域防災訓練など、多くの
地域防災訓練で、いばらき女子防災部
員がトイレワークを実践されました。



< 取り組みが評価されました♪ >

第2回日本トイレひと大賞 受賞

NPO法人日本トイレ研究所さんが実施されている
「日本トイレひと大賞」に、平成29年度いばらき女子防災部
でのトイレ対策（衛生対策）の取り組みや本市地域や市職員
の取り組みが選ばれました♪



受賞記念にいただいた
トロフィーです♪

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

まちぐるみで取り組むICO(イコ)いこトイレ対策

ICO(イコ)いこトイレすすめ隊 (茨木市 危機管理課)

茨木市(Ibaraki City Office:ICO)では、平成29年度をトイレ対策元年とし、市と地域、住民が一緒になって、いざという時のいつでも(I)、心地よく(C)、思いやり(O)トイレ[ICO(イコ)いこトイレ]を目指し、災害時のトイレ対策について学び、考え、取り組んでいます。

市では、防災対策の重要な「ひと」である市職員の防災研修のテーマに「トイレ対策」を取り上げるとともに、地域では、地域防災対策の担い手の要である自主防災組織を対象に、女性防災リーダー育成研修や防災士研修の中で、「トイレ対策(衛生対策)」を活動テーマの一つとして取り上げ、災害時のトイレ対策の重要性と日頃からの備えの必要性を啓発しています。さらに、各地域での自主防災組織主催の防災訓練で、トイレ対策の啓発や実践的な訓練ができるよう、防災士や女性防災リーダーとともに、自主防災組織に対して支援を行っています。

このように、市の防災対策を担う様々なひとに、それぞれのひとができるトイレ対策を伝え、訓練等の実践を行うことで、まち全体として、災害時のトイレ対策意識の向上を図り、いざという時に困らず、

いきたくなる快適なトイレ環境が保たれるよう取り組み[ICO(イコ)いこトイレ]を進めています。

第2回日本トイレひと大賞 パンフレットより



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

第2回日本トイレひとと大賞 パンフレットより抜粋

